

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030101	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡	
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		グループ	スポーツ振興G	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 スポーツ基本法		
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、1日目11区間129.3km、2日目10区間112.7km、3日目11区間122.6km、4日目10区間109.1km、5日目11区間114.9km合計5日間53区間588.6kmをタスキをリレーする。霧島市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)、ゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)、中継1箇所(福山)、第5日目中継2ヶ所(福山・国分)があり、中継所接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるよう大会を支援する。  
 ・南日本新聞社主催の県内男子では最高レベルの駅伝大会  
 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営。歓迎催事の太鼓、吹奏楽の手配。駐車場の確保、雑踏整理を行っている。また、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	176	171	177	171	171
イ	中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7	7
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	県下一周市郡対抗駅伝出場者	人	96	96	96	96	96
イ	観戦者	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	安全で快適に走れる	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ	安全に応援できる	箇所	84	84	84	84	84
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	人	91,045	81,149	91,282		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和29年奄美の日本復帰等を記念してスタートした。昨今の駅伝・長距離ブームが後押し、地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。当イベントは選手監督の3日目の宿泊が確実であること、また、大会当日は県内から選手の保護者や関係者など多くの方が霧島市を訪れることから、飲食をはじめ温泉入浴など、さらに、南日本新聞社の報道が連日行われることから霧島市への経済効果も大きく、市の魅力度アップにつながっている。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	59	60	46	60
		事業費	千円	59	60	46	60
投入量							

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
選手が安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継1箇所、第5日目中継2ヶ所を、スポーツ推進委員のべ54名、職員等のべ123名で、中継所設置、ゴール設置、スタート設置を行い、選手と観客が安全に競技、応援できる環境を整備した。またゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した。 ・県下一周市郡対抗駅伝競走大会 始良地区 総合優勝	県下最大の駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れること、及び走った後の歓待、県下各地から霧島市に訪れる観客達によって霧島市の魅力度向上・PRが図られている。また、市民が安心して応援できる環境が整うことによって、「観る」スポーツの推進が図られ市民の生涯スポーツへの意識向上が創造されている。本大会5日間のうち3日間は霧島市を通過しており、大会関係者から中継所・スタート地点の運営に対し高く評価されており霧島市の魅力度向上にも大きな役割を担っている。

事務事業コード	0110070204030101	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	県下一周市郡対抗駅伝出場者が安全で快適に走れ、観戦者が安全に応援できることは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置に責任をもって市が関与しなければならない。また、市民の「観るスポーツ」に対するモラルやマナーを養う一方、自らが「するスポーツ」への動機を得るために市がしなければならない事業である。市への経済効果と魅力度向上が図られる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	毎年、滞りなく大会が実施されていることから、現状の駅伝環境の創出水準が上限であると考えている。また、市民が安心して応援できる環境づくりのため必要などころに必要な交通警備員やボランティア員を配置し、コース周辺の地域住民に配慮したスタッフ配置を行っている。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	全県をあげての大会であり、通過する市町の責任と役割は長年の間に培われたものである。本事業の廃止や休止は市としての役割を果たせなくなる一方大会運営に重大な影響を及ぼし、ひいては、市のスポーツ振興にとって悪影響が生じる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本大会は南日本新聞社が主催する大会であり、市の負担は食糧費のみの事業費で行っており、削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業の実施にあたっては必要最小限の職員と、スポーツ推進委員や地元ボランティア(学校・婦人会・幼稚園)の協力で実施されている。スポーツボランティア組織の形成や地域を巻き込むことが可能であれば、将来的には人件費の削減余地はあると思われるが、現段階では削減の余地はない。また安全性を考慮すると、これ以上のスタッフの削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本大会は南日本新聞社が新聞やテレビ等を通して、市民だけでなく鹿児島県民にも広く周知されている。大会に出場する選手、選手を応援する市民それぞれに対し公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	<p>本大会は、平成29年度で65回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置、警察や主催者など関係各所を連携を図り、責任をもって市が関与しなければならない、今後も最善の注意をもって取り組む必要がある。またスタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める必要がある。</p> <p>近い将来、市の組織改編や人員削減に伴い、本市が担当する中継所・スタート・ゴール箇所の運営が困難となることも予想されるため、近隣市町との連携・調整を行っていく必要がある。また、より安全で地域住民からこれまで以上の理解と協力を得るためコースの見直しを検討する必要がある。</p>						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030102	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡	
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		グループ	スポーツ振興G	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 63 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ )		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本イベントはMBCが主催する。鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。

- ・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区) 計12チーム
- ・コース 霧島市隼人運動場をスタート→鹿児島神宮前交差点→鹿児島神宮入口交差点→木之房交差点→ホテル京セラ前交差点→河川敷→野口橋交差点→下井→野口橋交差点→ホテル京セラ前交差点→鹿児島神宮入口→鹿児島神宮前交差点→霧島市隼人運動場
- ・本事業を開催するに当たり、開閉会式の会場設営、グラウンドの整備、整地、防霜対策としての塩化カリウムの散布、及び200mトラックの製作を行っている。また、走者沿道ののぼり旗の設置と撤収、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	63	63	63	63
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969
ウ						

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	91,045	81,149	91,282	
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県の女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域おこしを目的に開始された。地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。当イベントは選手監督の前泊が期待できること、また、大会当日は県内から選手の保護者や関係者など多くの人が霧島市を訪れることから、飲食をはじめ温泉入浴など、さらに、MBCテレビと、ラジオで生放送されることから霧島市への経済効果も大きく、市の魅力度アップにつながっている。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,771	2,773	2,721	2,773
		事業費	千円	2,771	2,773	2,721	2,773
投入量							

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>職員延べ51名(事前準備31名+大会当日20名)、スポーツ推進委員43名、交通安全協会21名を動員し、選手が安全で快適に走れるコースづくりとともに、市民が安心して応援できる環境を整備した。</p> <p>【平成29年度始良チーム成績】 優勝 京セラ女子陸上競技部を中心にチームが構成され、育成年代の成長も著しく、18年ぶりの優勝を飾った。</p>	<p>鹿児島県内最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境を整備することにより、女子長距離界の選手の育成・強化と市民の「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。毎年霧島市で開催されることにより、経済効果はもちろん、本市の魅力度向上が図られた。</p>

事務事業コード	0110070204030102	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	地区対抗女子駅伝大会出場者が安全で快適に走れ、観戦者が安全に応援できることは、市民が(観る、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	県下最高レベルの女子駅伝大会であり、コースの整備や中継所の設置・運営、また、応援する市民の安全確保のための雑踏警備や交通誘導が必要となり、市が関与しなければならない。また、霧島市が実施しなければ他市で開催される恐れがあり、市への経済効果と魅力度アップの機会が失われる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある ■ 向上する余地はほとんどない	選手の安全はもちろん、市民が安心して応援できる環境整備のため、警備員や交通整理員を配置し、事故のない安心安全や大会運営に努めており、現状の水準が上限であると考えている。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	本事業の廃止や休止は、市民の「観るスポーツ」、「するスポーツ」の機会を奪うこととなり、市のスポーツ振興にとって悪い影響が生じる。また、宿泊、飲食、交通などの経済効果にも影響が出る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ □ 類似の事業はない ■ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 鹿兒島県下一周市郡対抗駅伝競走大会 鹿兒島県下一周市郡対抗駅伝競走大会は、県内最高レベルの男子駅伝大会であり、市として交通整理や中継所の設置・運営、関係団体等に協力依頼をしている点で業務内容は類似しているが、主催者、コースともに異なり、統合又は連携は考えられない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	本大会はMBCが主催する大会である。補助金の額の削減については、主催者側からこれ以上の削減は、大会自体の開催を考慮しなければならぬ旨の回答を受けており、削減の余地はないと考えている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	職員以外にスポーツ推進委員や地元ボランティア(学校、女性団体等)の協力を得ているが、現段階では、これ以上の人件費の削減は困難であるとする。ただし、総合型地域スポーツクラブの育成・強化、その他スポーツボランティア組織の形成や地域を巻き込むことが可能であれば、将来的な人件費の削減余地はあると思われる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	本大会はテレビ、ラジオや新聞等を通して、市民だけでなく鹿兒島県民にも広く認知されている。大会に出場する選手、大会を応援する市民それぞれに対し公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	広域的に公道を利用する大会であり、より安全面に配慮した大会運営が必要であるため、道路事情の変化に伴う立哨場所の再点検や、交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議を行う必要がある。また、県内最高レベルの女子駅伝競走大会であり、市民が身近にトップレベルの選手を見る良い機会であるため、コース沿いの見学場所の安全確認等も併せて行う必要がある。霧島市開催の利点を生かし、「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」の実践を図りたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	交通等の安全面については、関係機関との連携を更に深め、携わるスタッフの意識を高められるよう、事前指導等をしっかりと行いたい。また、「支えるスポーツ」としては、事前準備や会場設営、当日の運営など、関係団体等と協力し実践できているので、「観るスポーツ」として、事前の大会周知の工夫を行い、市民が大会の応援に積極的に携われるよう努めたい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070204030103	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部	担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	中馬 聡		
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興グループ		
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		内線番号	3961		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	07 保健体育費					
	目	02 社会体育振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。

国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)、溝辺地区(球技、駅伝、ウォーキング)、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園(ソフトボール、バレー、グラウンド・ゴルフ、運動会、ゲートボール、ゴルフ)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション、ジョギング、駅伝)、隼人地区(ウォーキング、ニュースポーツ、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区29競技)	人	3,337	8,000	3,575	8,000	8,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 霧島市居住者及び勤務者	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通じて親睦を図れた市民の数	人	3,337.0	10,000.0	3,575.0	10,000.0	10,000.0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	91,045	81,149	91,282		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	4. 事業費の推移	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
		地域の活性化や親睦と融和を目的に、霧島地区(昭和33年～)・隼人地区(昭和44年～)・福山地区(昭和52年～)・溝辺地区(昭和58年～)・牧園地区(平成9年～)においてスポーツ祭が行われていた。少子高齢化に伴い、地区によっては選手の選考に苦慮している地区自治公民館がみられる。参加者からは存続を望む声が多い。また、体育部長等からは選手集めに苦労しているとの声もある。 霧島地区では昭和33年から続いている歴史ある事業のため、存続を望む声が多い。	事業費 投入量	千円	1,807	1,800	1,784
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,807	1,800	1,784	1,800	0
		事業費	1,807	1,800	1,784	1,800	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各地区では、市民が身近で気軽に参加できるスポーツ事業として、地域の実行委員会等が主催する地域スポーツ事業がある。その企画・運営は、スポーツ推進委員、自治組織の役員等が担っている。大会助成として補助金を実行委員会に支出して活動を支援した。 国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ)、溝辺地区(球技、駅伝、ウォーキング)、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園(ソフトボール、バレー、グラウンド・ゴルフ、運動会、ゲートボール、ゴルフ)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション、ジョギング、駅伝)、隼人地区(ウォーキング、ニュースポーツ、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)	各地区では運動会・各種スポーツ祭などの自治組織中心の自主的なスポーツ交流事業が展開され、身近な場所で様々な年代が、スポーツを楽しむ場を提供できた。参加者の交流により地域コミュニティが生まれ、子どもの健全育成や高齢者の生きがいづくりに寄与できた。 * 荒天のため中止とした事業 ・霧島地区 レクリエーション、ジョギング、駅伝

事務事業コード	0110070204030103	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	各地区スポーツ祭の参加者や観戦者が、スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れることは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が気軽にスポーツを楽しめる環境の形成は、市民の主体的な取り組みを基本として、自治組織、スポーツ推進委員、市スポーツ協会の競技団体等が連携し実践することが重要なことから市の責務であり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	スポーツ大会参加者は、それぞれの地区も固定化する傾向にあり、多様化する地域住民のニーズに的確に応えるためには、参加者の年代区分及び競技種目等の見直しが必要であると思われることから向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	各地区のスポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されるとスポーツを通じての親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、地域の活力が寂れていくと感じる市民が増えることが想定される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	地域主体(実行委員会方式)で企画運営されており、市職員(含スポーツ推進委員)の関与は最小限で実施されており、削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しく公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各地域を主体として行われるスポーツ祭は、地域住民にとって身近な地域行事の一つであり、スポーツ祭を通じて、スポーツへの関心や、地域住民や家族の親睦を図ることができる。今後も自主的な運営が図られるよう、各地区スポーツ祭実行委員会への助言・指導を引き続き行う。また、日程や種目については、興味や関心に対応したものを取り入れることにより参加者増を期待する。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	例年同様、自主的な運営が図られるよう、各地区スポーツ祭実行委員会への助言・指導を行い、年齢、性別、障がいの有無を問わず、誰でも参加できるものを企画し、日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となるよう取り組む。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030104	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡	
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		グループ	スポーツ振興G	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)	
市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行い、展示館への無料見学を実施している。 ・種目 ジョギングの部 4.8km (高校生以上)、2.4km (小・中学生) 駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km ・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人・中学生以下2,000円/人 駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム・中学生 7,000円/チーム・小学生 5,000円/チーム 主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会。職員は実行委員会事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。	

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 駅伝・ジョギング申込者数	人	1,651	1,500	1,658	1,700	1,700
イ ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	6	6	6	6	6
ウ 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	7	7	7	7	7

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	1,651	1,500	1,658	1,700	1,700
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しめた人の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
イ 上野原縄文の森を知ってもらおう	来場者数(イベント参加者数)	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	91,045	81,149	91,282		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走大会」として第1回目を開催。幾多の名称変更を得て、第17回大会から上野原縄文の森駅伝へ名称変更。県内外からの参加があり駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。

4. 事業費の推移	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業費	千円	2,000	2,000	2,000	2,000

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
特別協賛企業10社、広告協賛企業54社の計64社に協力をいただき、また、上野原テクノパーク立地企業には駐車場を貸与いただいた。昨年引き続き、県と協働して上野原縄文の森展示館への無料見学の取組みも行った(12名)。スタッフは、司会者1名、医師・看護師3名、スポーツ推進委員33名、霧島市陸上競技協会16名、職員40名、高校生ボランティア21名、鹿児島第一医療リハビリ専門学校スポーツリハビリテーション部9名の計123名に協力をいただき、運営を行った。	昨年と比べ参加者は微増となっているが、同時期に開催される鹿児島マラソンが開催されるようになってから、この数年、参加者数が伸び悩んでいる。しかし、この駅伝大会を開催することによって参加者の親睦融和が図られ、市民の健康増進、地域の連帯感の高揚、地域興しにも大きな成果を上げることができた。また、大会に賛同していただける企業も多数あり、地域に根付いたイベントとして盛り上がりが見られた。

事務事業コード	0110070204030104	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	縄文の森駅伝大会参加者が、ジョギングや駅伝を楽しんでもらったり上野原縄文の森を知ってもらうこと、地元住民や企業、高校生、専門学生のボランティアに協力を得て開催することは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の「するスポーツ」実現のため本大会を行うことにより、運動習慣を継続する良いきっかけになる。さらに市外から参加者が集まることにより、市のPRにつながる。また、上野原縄文の森で開催することで、この地域を広くPRすることができるため、市が行うことが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	昨年度の課題(選手の安全確保、危険箇所へのスタッフの配置、看板設置等の配慮、協賛企業の駐車場借用等)については、概ね改善できたが、今後も、参加者や大会関係者の声を十分に考慮することで、更なる成果向上も期待できる。一方で、参加者の減により大会運営は年々厳しくなっており、スタッフの負担増についての配慮が必要である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民参加型、交流型のスポーツイベントの機会がなくなることは、スポーツを行うというきっかけづくりを抑制することになる。また、本大会のような長距離型のイベントは子どもから高齢者まで、ライフステージに応じたスポーツ習慣化が必要であり、廃止することは生涯スポーツ環境の形成に影響がでる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は全額補助金である。大会の運営費は市補助金の他、市内外の企業や事業所からの協賛、参加者からの参加費を徴収し賄っている。ここ数年参加者が減ってきており、サービスの質の低下や必要な設備等への影響が出始めており、これ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	交通警備や会場設営の委託、自動計測装置の導入により、必要な経費の削減は行っている。スポーツ推進委員や市陸上競技協会、高校生ボランティアなどの協力を得て大会運営を行っており、これ以上の削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が主催する唯一のスポーツイベントであり、市及び縄文の森のPRも兼ねたものである。そのため、公費約50%投入は妥当であり、公平・公正である。参加(見学も含め)することで受益機会は平等である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	鹿兒島マラソンの開催に伴って、ここ数年参加者の減少傾向にあり、大会運営は非常に困難な状況になってきている。また、参加者駐車場として、上野原縄文の森及び上野原テクノパーク立地企業より無償で土地の提供を受けているが、台数が不足している状況が続いており、これらの問題解決の検討を行う必要がある。						
	参加者や来場者に本大会を楽しんでもらうことは、もちろんのこと、大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、老若男女、障がいの有無を問わず参加できるよう広報等に努める。また、2020年のかごしま国体・かごしま大会の開催を始め霧島市のPRに努める。 また、中長期的には、霧島市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の参画を促し、民間のアイデアを取り入れつつ、より良いスポーツイベントとなるよう検討したい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



1. 基本情報								
事務事業コード	0110070204030108	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部	担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	中馬 聡			
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G			
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		内線番号	3961			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例		
	項	07 保健体育費						
	目	02 社会体育振興費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- 生涯スポーツの推進に関すること。
- スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。
- スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。
- 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

組織は、スポーツ関係団体、及び校種別代表、計9人の委員で組織している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 開催されたスポーツ審議会の回数	回	3	3	2	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア スポーツ審議会委員の数	スポーツ審議会委員	人	9	9	9	9	9
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市の諮問に応じて審議・答申しやすくなる	スポーツ審議会に諮問した件数	件	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0
イ 予算編成の際、事業に関する要望等について、意見を述べやすくなる	予算要望件数及びその他の要望件数	件	2	2	0	2	2
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する。※参加「する、観る、支える」の全てを指す。	スポーツ大会等の競技者、観客、スタッフのべ人数	人	91,045	81,149	91,282		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
スポーツは、これまでの競技志向に加え、健康志向、レジャー志向などへと広がりをみせている。一方で運動不足などによる生活習慣病の増加といった問題が生じている。こうした中、スポーツの持つ役割は体力向上や健康の保持増進などから、生活習慣病の予防やストレスの防止、地域コミュニティの活性化や地域経済への貢献などといった社会的役割へ拡大している。当審議会は、教育委員会の諮問を受け平成25年3月スポーツの持つ役割の拡大を踏まえ、「霧島市スポーツ振興計画」を策定した。		投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0
				一般財源	千円	107	125	69	151
				事業費	千円	107	125	69	151

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツ審議会を2回開催した。 9月 国分中央高等学校体育祭の集団演技の視察 12月 国分中央高等学校ダンス部定期発表会の視察 3月 スポーツ振興計画の進捗状況の点検等を計画したが、出席委員が全委員の過半数を満たさず、未開催となった。	平成29年9月、国分中央高等学校スポーツ健康科の集団演技を観戦し、教育・訓練された規律レベルの高さを体感した。 平成29年12月、国分中央高等学校ダンス部の定期発表会を視察し、演技、演出等の技術を目の当たりにし、生徒たちの可能性の高さを感じた。

事務事業コード	0110070204030108	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	生涯スポーツの振興を図るには、スポーツ関係団体の代表する審議会に意見を求め、それぞれの観点から市民の(観る、する、支える)スポーツ活動を充実させることにつながるから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法(昭和23年法律第78号)第31条の規定、及び、霧島市スポーツ推進審議会条例(平成18年条例第31号)第1条の規定に基づき、設置されたものであることから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市のスポーツ振興計画の作成や予算編成の際には、スポーツ推進審議会にも意見を求めており、同審議会から出された意見等については、スポーツ・文化振興課で協議・検討し、市のスポーツ行政へ反映させるよう努めている。各施策等についても、もう少し踏み込んだ具体的な提言等により、成果の向上があると思われる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	審議会は、法第35条に規定するもののほか、霧島市の諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議する必要があるため、廃止の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は、委員に対しての出席報酬及び費用弁償のみで削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市のスポーツ環境の充実をはかるため、スポーツ関係団体の代表する審議会の意見を、市のスポーツ施策に反映させるという重要な業務のため、正職員以外の対応や委託はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	審議会委員は、スポーツを司る組織の代表から構成された組織であり、教育委員会の諮問に応じて審議・答申や予算編成の際の事業等に関する要望など、市に対して意見を述べる機関であり、最終的な受益者は市民全体であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在、国分中央高等学校行事視察が2回あるが、より幅広いスポーツ振興の現状を把握するため、小体連や中体連、各種社会体育・生涯スポーツ団体等の行事などの視察も検討したい。また、審議会時のみでなく、逐次委員に対し情報提供を行い、スポーツ振興に対し、具体的な提言をいただけるよう取り組みたい。また、年度末の審議会については、行事等が重複する中での開催となるため、開催時期については見直しを行いたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	世代や団体の別を問わず、スポーツ振興事業についての現状把握をしていただくため、視察等の機会を拡大し、審議会の充実に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030201	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	スポーツ振興G	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設設管条例		
	項	07 保健体育費				
目	03 社会体育施設費		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市国分清水309番地、施設及び開設日:国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間:8:30~22:00

【指定管理者】㈱エルグ・テクノ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】国分体育館(880円/時間)、国分運動公園陸上競技場(990円/時間)、国分球場(440円/時間)、庭球場(250円/面)、多目的広場(600円/時間)、多目的屋内運動場(600円/時間)、国分武道館(440円/時間)、国分弓道場(480円/回)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	8	8	8	8	8
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	9	12	26	12	12
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	10	12	26	12	12

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象が良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	56.0	70.0	64.7	70.0	70.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	232,526	250,000	237,013	250,000	250,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分運動公園・国分武道館管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っている。管理運営制度時と比較して今なお利用者数が増加傾向にある。施設利用者からは接客サービスや、施設利用時の柔軟性が良くなったとの意見がある一方、多様化する利用者ニーズ、例えば、トイレの洋式化や施設の改修をして欲しいとの意見がある。また、議会からは修繕時の利用できない期間が長いとか、大会やイベント等が重複した時の駐車場不足を指摘されている。

4. 事業費の推移

		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	7,920	127,520	108,560	20,900	0
		県支出金	千円	14,000	0	773	11,300	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	120,299	182,779	69,249	79,667	0
		事業費	千円	142,219	310,299	178,582	111,867	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 47,198千円</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 6件、1,332千円</li> <li>改修工事(H29→H30年度繰越) 3件、契約額 210,168千円(支出額113,300千円)</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケートでは施設運営の満足度において64.7%が満足・やや満足という結果を得られた。</li> <li>市としては、6件の修繕、3件の改修工事(未完了)を行い、施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。</li> <li>指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携が図られた。</li> </ul>



事務事業コード	0110070304030201	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することは、スポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	面(コート)貸しの空き時間の振り分けにより利用者はある程度増える要素がある。また、老朽化した施設の早急な改修を行い施設利用の総合的な印象を確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設は、スポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設・設備の経年劣化により、各所において不具合が生じているが、霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう、修繕を行う必要がある。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、施設・設備の修繕等を行う最適な年度と位置づけ、徹底した点検と保守管理を行い、引き続き、安心・安全に利用できる施設運営を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報										
事務事業コード	0110070204030202	事務事業名	学校体育施設開放事業				担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	03	スポーツの振興				担当課長	中馬 聡			
基本事業名	02	スポーツ環境の整備				グループ	スポーツ振興G			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ )			
	款	10 教育費					関係法令・条例等 スポーツ基本法・霧島市立学校施設使用条例			
	項	07 保健体育費								
	目	02 社会体育振興費								
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画				
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>										
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)										
市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体があれば、登録することにより定期的に借りることができる。 小学校(屋内34箇所・屋外35箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外12箇所) 申込み方法: 国分地区屋外施設においては各地区自治公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。 開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。 受益者負担: 国分地区屋外施設においては地区自治公民館、他の地区においては学校へ直接確認。 【使用料】一般: 体育館210円、武道館210円、グラウンド830円 児童生徒: 体育館110円、武道館110円、グラウンド420円										
① 活動指標 (事務事業の活動量)										
	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)				
ア	開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	81	94	72	94	94			
イ										
ウ										
(2) 事務事業の目的										
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)										
	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)				
ア	市民	人口	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230			
イ										
ウ										
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)										
	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)				
ア	スポーツ活動ができる	使用者数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った人)	延人	117,379	150,000	114,459	150,000	150,000		
イ	スポーツ活動ができる	使用団体数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った団体数)	団体	237	260	235	260	260		
ウ										
(3) 上位の基本事業										
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)										
	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)				
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	39.9	43	***				
イ										
ウ										
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)										
平成23年に全面改正されたスポーツ基本法第13条で、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するように努めなければならないこととされており、これに基づき学校開放施設整備の取組を行っている。体育施設の経年劣化が進み、整備・改修を要する施設が増えている。また、条例により使用料を徴収することとした。利用日誌の管理集計については管理指導員(教頭等)が行なう。毎月、スポーツ・文化振興課へ報告をもらい集計表をもとに納付書を発行。入金確認を行う。										
4. 事業費の推移										
	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)				
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	2,347	2,465	2,412	2,400	0		
		一般財源	千円	81	100	0	166	0		
		事業費	千円	2,428	2,565	2,412	2,566	0		
投入量										
5. 平成29年度の実績及び成果										
(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>										
・利用団体延数: 235団体 ・利用延人数 114,459人 ・平成22年度の条例改正により体育館の使用料について統一した基準に則って実施し、利用団体の登録教務、使用料納付書の請求業務、集計業務、管理指導員への報酬支払い業務を行った。										
(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>										
市民スポーツの推進、コミュニティ活動の促進が図られた。また、学校体育施設を開放し、活用することにより地域住民の親睦とコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興に成果を上げることができた。また本事業で事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。										

事務事業コード	0110070204030202	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	学校体育施設を利用しスポーツをする人が増えているということは、スポーツを行う環境が整っているということであり、またスポーツを行うことで、利用している市民同士がつながることで、より一層スポーツを行う環境づくりに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法第13条の規定を受け、実施している。学校体育施設において、市民がスポーツ活動を通じ健康づくり・仲間づくりを行う場を提供することは、公共として必要であり、また維持管理に要する費用の一部を市が負担することは学校施設を使用していることと、安全に施設を提供する面からも妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域や立地条件によって利用の少ない学校や、利用実績のない学校がある一方で、調整しなければならないほど利用団体の多い学校もある。当課で利用状況を把握することが出来ているので、新規利用で学校体育施設の利用の相談があるときは、学校までの距離などにおいて利用団体に支障が無い範囲で、近隣の利用者数が比較的小さい学校を紹介するなど対応しているが、まだ利用の頻度に偏りがある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	237団体が学校施設を利用しており、本事業を廃止・休止した場合、多くの市民がスポーツ活動をする場がなくなり、子どもたちのスポーツ活動についても、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなる可能性がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	今年度は備品の購入は行っておらず、修繕については必要最低限のものとし、事業費としては、各学校へ施設の維持管理に要する消耗品費の7千円と管理指導員へ1日あたり350円の報償費を支払っているが、実績に応じた報酬負担でありこれ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市の歳入としての使用料の徴収業務が主な内容である。各利用団体に月1回の納付書を送付する業務と、年度末に管理指導員への年1回の謝金支払いが主な業務内容であり削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校行事に支障のない範囲で全ての小・中学校体育施設を市民を対象に開放しているため、一部の受益者に偏ってはいない。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	主に利用者の実績報告を各学校の教頭に依頼して行っているが、教頭も通常の学校業務に日々追われている中で本業務に協力している状況であるため、毎月の実績報告が遅れることがある。実施報告に基づいて行う納付書発送が、遅くなれば利用者にも迷惑をかけてしまう可能性があるため、教頭に依頼している立場ではあるが、毎月決められた時期までに確実に報告してもらうよう親切丁寧に指導していく必要がある。また、今年度行われた組織改正に伴って、本課が教育委員会から市長部局へと移ることとなった。これまで同じ教育部局として学校と本課の連携がスムーズに取れていたが、本年度も教育委員会を含めた学校と本課が、これまでと同様に連携を図る必要がある。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	これまでと同様に、利用者にも迷惑がかからないよう、毎月決められた時期までに利用者報告してもらうよう親切丁寧に指導していく必要がある。また国分地区はグラウンド照明の管理など自治公民館に依頼しており、これまで以上に地域住民の理解と協力が得られるよう、持続可能な運営の仕方を検討する必要があると思われる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070304030202	事務事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡		
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	スポーツ振興G		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市市営プールの設置及び管理に関する条例	
	項	07 保健体育費					
	目	03 社会体育施設費				霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年):屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、ふれあい温泉センター(H3)、開館時間:屋内プール及び屋外プール10:00～21:00、ふれあい温泉センター10:00～18:00

【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間:平成27年度～平成31年度

【主な利用料金】屋内・屋外プール 一般:420円 高齢者:210円 児童生徒:210円 未就学児:無料  
ふれあい温泉センター 210円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	28	30	16	30	30
ウ 指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	28	30	16	30	30

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	72.0	70.0	75.1	70.0	70.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	72,149	76,000	64,724	76,000	76,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	39.9	43	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分総合プール管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在三期目に入っている。指定管理者の運営サービスは向上傾向と見受けられるが、施設の老朽化が進む中、利用者の健康意識向上や、多様化する要望に改善が追いついていない状況である。中でも当時レジャー性の重視、かつ開放的な施設としてガラス張りの構造で建設されたが、今では健康志向での利用者が多く、日焼け予防のための遮光を求められる状況であり、環境の変化が事務事業を進めるにあたり影響を及ぼしている。

4. 事業費の推移

単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	34,863	34,742	32,742	34,742
事業費	千円	34,863	34,742	32,742	34,742	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 32,020千円</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 4件、1,904千円</li> <li>中央監視装置リース長期継続契約(5年) 年722千円</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケートでは施設運営の満足度において、前年度より3.1%上昇した。</li> <li>市としては4件の修繕を行い、老朽化した施設、設備の更新を図ることができた。</li> <li>中央監視装置リースの長期継続契約を行い、施設・設備管理の利便性が図られた。</li> <li>指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携が図られた。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030202	事務事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、市の政策である育み磨きあつまづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	団体利用時間、専有利用の調整等が効率よくできることで、成果が向上する余地があると思われる。また、経年劣化による設備・備品の更新を年次的に行っていけば、より利用者のニーズに応えられると考える。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設・設備の経年劣化により、各所において不具合が生じているが、霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう、修繕を行う必要がある。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	水難事故防止等について、施設管理の徹底を行うとともに、定期点検等により危険箇所の早期発見を心がけ、引き続き修繕を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報										
事務事業コード	0110070304030203	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業				担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあいまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課						
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	中馬 聡						
基本事業名	02	スポーツ環境の整備	グループ	スポーツ振興G						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H28 ~ H32 )					
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市都市公園条例・霧島市国分児童体育館の設置及び管理に関する条例				
	項	07 保健体育費				関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画			
目	03 社会体育施設費		評価区分	標準評価	評価対象		1次評価			
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>										
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)										
<p>【施設の概要】所在地: (国分海浜公園) 霧島市国分下井2512番地(北公園) 霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園) 霧島市国分上井183番地(児童体育館) 霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園) 霧島市国分重久5550番地2 (開設日): 国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間: (国分海浜公園、北公園、南公園) 8:30～22:00 (児童体育館) 10:00～22:00 (春山緑地公園) 8:30～18:30(10～3月は17:00まで)</p> <p>【指定管理者】(一財) 霧島市施設管理公社、指定期間: 平成28年度～32年度</p> <p>【主な利用料金】国分海浜公園体育館: バレーボール(1面につき1時間) 一般220円・子ども110円、国分北公園多目的広場: ソフトボール(1面につき1時間) 210円、国分南公園: ソフトボール場: 210円(1時間)、国分児童体育館: 220円(1時間)、春山緑地公園: 野球(1面につき) 300円</p>										
① 活動指標 (事務事業の活動量)										
		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)	31年度 (見込)		
ア	指定施設数	施設	11	11	11	11	11	11		
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	3	3	3	3	3	3		
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	3	3	3	3	3	3		
(2) 事務事業の目的										
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)			③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)			単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230		
イ										
ウ										
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)			⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)			単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	65.0	80.0	67.0	80.0	80.0		
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	119,191	120,000	127,783	120,000	120,000		
ウ										
(3) 上位の基本事業										
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)			⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)			単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	39.9	43.0	***				
イ										
ウ										
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)										
<p>海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業の指定管理者制度導入は平成19年に開始され、現在三期目の最終年度に入っている。三期目は公募者が無く、直接指定で施設管理公社が管理を行っている。施設内には防風の松が点在しているが、松の根の隆起による施設の損傷や、高所の枝木が隣接民家の支障になっている。また、第1グラウンドにおいては天然芝が剥がれ、利用者からの全面改修要望が出ている。</p>										
4. 事業費の推移										
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	33,572	33,772	33,572	33,782	0		
		事業費	千円	33,572	33,772	33,572	33,782	0		
5. 平成29年度の実績及び成果										
(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>					
<p>【指定管理料実績】 指定管理料実績 33,572,000円</p> <p>【市の活動実績】 ・修繕 2件 1,803,600円 ・指定管理者との定期的な打合せ</p>					<p>・安定した利用者の確保が図られた。 ・市として、2件の修繕(国分海浜公園雨漏り修繕、南公園中間公園高架水槽修繕)を行い、施設を良好な状態で維持できた。</p>					

事務事業コード	0110070304030203	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民アンケートの結果等をふまえ、指定管理者と適宜協議を行いながら、市民満足度の底上げを図る。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の経年劣化が目立つが、指定管理者の多大なる協力を得ながら施設の管理運営を行っている。市でも、危険箇所、法令上必要な最低限の修繕は行っているが、利用者の利便性向上を考慮した施設運営ができるよう、指定管理者と更なる関係を図りたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	国分地区のスポーツの拠点として、引き続き安心・安全・快適に利用できる環境整備に努める。また、平成31年度開催の全国高校総体、平成32年度開催のかがしま国民・かがしま大会の練習・合宿会場になることも予想されるため、全国から訪れる選手や来場者が快適に利用できるよう整備を進めるとともに、国事として相応しい施設・設備の充実を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

<b>1. 基本情報</b>	
事務事業コード	0110070304030204
事務事業名	溝辺上床運動公園管理運営事業
担当部	市民環境部
担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04 育み磨きあうまちづくり
担当課長	齋藤 修
施策名	03 スポーツの振興
グループ	地域振興・教育グループ
基本事業名	02 スポーツ環境の整備
内線番号	6033
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 07 保健体育費 目 03 社会体育施設費
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )
評価区分	標準評価 評価対象 1次評価 関連計画 霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市溝辺町麓3391番地・溝辺町有川117番地26、施設及び開館日:溝辺体育館(昭和60年)、溝辺運動場(昭和49年)、溝辺庭球場(平成元年)、溝辺グラウンドゴルフ場(平成10年)、溝辺多目的交流施設上床ドーム(平成16年)、溝辺弓道場(平成8年)、上床公園[旧スポーツ公園](平成10年)、開館時間:8:30~22:00(上床公園:8:30~19:00開園時間は時期により変動)

【指定管理者】きりしまPPP株式会社、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】溝辺体育館(370円/時間)、溝辺運動場(210円/時間)、溝辺庭球場(650円/時間)、溝辺グラウンドゴルフ場(70円/1人1時間)、溝辺多目的交流施設上床ドーム(160円/時間)、溝辺弓道場(110円/時間)、上床公園(無料)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	7	7	7	7	7
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	3	3	3	3	3
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	3	3	3	3	3

**(2) 事務事業の目的**

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	39.0	80.0	48.0	80.0	80.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	91,665	108,000	89,670	10,800	10,800
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	39.9	43.0	***		
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

溝辺上床運動公園管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在3期目に入っている。施設利用に関してはスタッフの接客態度等、概ね満足している意見がある一方、公園敷地が広大なために年間を通しての美化作業の徹底が難しいという課題もある。なお、各施設は老朽化が着実に進み、今後は施設の維持管理、改修等が問題となってくる。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	420	32,304	26,650	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,124	9,542	40,834	33,141	0
事業費		千円	6,124	9,962	73,138	59,791	0

**5. 平成29年度の実績及び成果**

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理実績】 19,461,600円 ※内訳 ・指定管理料実績(スポーツ・文化振興課分)6,121,823円 ・指定管理料実績(生涯学習課分)13,339,777円 【市の活動実績】 ・修繕 557,350円 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回	・上床公園施設全体の利用者アンケート結果では、施設運営の満足・やや満足満足度割合が48%程度で、昨年より満足度割合が悪くなったため、指定管理者は担当課と連携して満足度が低下した原因を精査しつつ、施設利用者へのサービス向上を図る必要がある。 ・市としては、予算の範囲内で修繕を行い、施設は老朽化が進んでいるが、維持管理に努め、利用者の利便性の向上を図った。

事務事業コード	0110070304030204	事務事業名	溝辺上床運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、市は民間のノウハウを生かした指定管理者制度を導入している。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	上床公園内で利用者の比較的少ない施設等は、広報及び自主事業を通じて利用者がある程度増える要素がある。また、老朽化した施設の早急な改修を行うことで、利用者の利便性を確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後、各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり、統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉の向上を目的とするものであるため、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・老朽化施設を抱えていれば、施設の不具合について利用者の辛辣な意見や課題も蓄積するが、優先順位を定め、予算の範囲内で適宜改修に取り組んでいく。 ・利用者の満足度は上昇しているが、目標には達していないため、改善すべき点に刮目し、更なるサービス向上に努める必要がある。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	平成32年度国体開催予定場所に指定されていることから、安全に利用できる施設として不具合箇所等の点検を綿密に行い、必要な整備、修繕を進めていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030205	事務事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	04 育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	03 スポーツの振興	担当課長	桑木 治夫			
基本事業名	02 スポーツ環境の整備	グループ	地域振興グループ			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市営温水プール管理条例・霧島市営体育施設管理条例	
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市横川町上ノ3392番地3、施設(開設年):横川温水プール(平成3年)、横川体育館(平成4年)、横川運動場(平成6年)、横川庭球場(平成6年)、横川ジョギングコース(平成6年)、開館時間:8:30~22:00(ただし、プールは10:00~21:00)

【指定管理者】㈱エルグ・テクノ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】横川温水プール(310円/回)、横川体育館(880円/時間)、横川運動場(210円/時間)、横川庭球場(250円/面)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	5	5	5	5	5
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	7	7	7	7	7
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	12	12	12	12	12

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	64.0	65.0	64.7	65.0	65.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	利用者数	人	64,571	65,000	63,467	65,000	65,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43.0	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

横川運動公園管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年9月に開始され、平成27年4月から三期目に入っている。直接管理運営時と比較して利用者数が年々増加している。施設利用者からは、接客サービスの向上や施設利用時の柔軟性が利くようになったなど、施設運営面に対し良い評価を得ている。しかし、体育館の照明を明るくしてほしいなど施設設備の充実を求める意見も多く寄せられている。

4. 事業費の推移

単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	395	226	30,600
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	25,756	28,151	27,249	58,381
事業費	千円	25,756	28,546	27,475	88,981	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 27,021,000円(当初27,756,000円)</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 4件、1,572,000円</li> <li>施設改修 0カ所、 円</li> <li>改修設計 0カ所、 0円</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横川温水プールボイラー修繕による年始のプールの一時休館等があったが、運動公園全体の利用者数は平成28年度に対し、増加となった。</li> <li>利用者アンケートでは、施設運営の満足度において各調査項目で満足・やや満足という結果を得られた。</li> <li>横川体育館屋根修繕(雨漏り)を実施し、市として施設の管理運営を良好な状態で維持し、利用者の利便性・安全性の向上を図った。</li> <li>㈱エルグ・テクノを三期目の指定管理者として指定し、さらに充実した施設の管理運営が行われるよう連携を図った。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030205	事務事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することは、スポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	平日の利用者が少ないため、各施設の利用促進を図る。また、老朽化した施設設備の改修を行い、利用者の良好な印象を確保する。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他地区の体育施設管理運営事業 合併後、各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり、統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、指定管理者を監視・監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1) 平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の全体的な老朽化により、あらゆるところに不具合が生じてきている。平成29年度は温水プールのボイラーの修繕や体育館の雨漏り修繕などを行ったが、平成30年度はプール本体からの漏水修繕に取り組むたい。						
(3) 平成31年度の方向性(具体的な取組)	平成32年度(2020年)の国体で横川体育館でハンドボール協議が行われるが、横川体育館の修繕はもとより、運動公園全体の外観や施設の不具合場所も改善していく必要があると思われる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							





平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030206	事務事業名	牧園みやまの森運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	阿久井 洋一	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	地域振興・教育G	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市体育施設設置管理条例	
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設】所在地:霧島市牧園町宿窪田2992番地 施設及び開館日:牧園アリーナ(平成28年)、牧園みやまの森運動場(平成25年)、牧園ゲートボール場(平成25年) 開館時間 8:30~22:00

【指定管理者】さきしまPPP株式会社 指定期間:平成27年度~平成31年度

【主な利用料金】牧園アリーナ(740円/時間)、牧園みやまの森運動場(210円/時間)、牧園ゲートボール場(60円/時間)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ	指定管理者による自主事業実績数	件	6	10	6	10	10
ウ	指定管理者による自主事業利用者確保のためのPR回数	回	6	10	6	10	10

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	90.0	50.0	50.0	50.0	50.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	54,506	53,570	55,807	56,000	56,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

牧園みやまの森運動場の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、平成29年度は三期目の3年目であった。利用者数は目標値は上回っているが、前年度と比較して約94%であった。減少の要因として悪天候によるキャンセルが多かったことがあげられる。施設利用者からは施設設備の充実や清掃美観の維持などを求める意見があるが、総合的な印象は期待以上または期待通りの印象を持つ利用者が多かった。

4. 事業費の推移

単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	23,984	26,330	26,108	46,130
事業費	千円	23,984	26,330	26,108	46,130	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の実績 (取組) <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 23,948千円</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 2件 804千円</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)年12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理三期目の3年目であったが、前年と比較して利用者数は増加した。原因としてグラウンドの利用者は減少したものの、天候等に左右されない体育館での行事(イベント)、大会の利用がそれを上回る増加に転じたことがあげられる。</li> <li>グラウンドの水道蛇口、トイレのカギ表示(使用中)の改修など積極的に改修を行い施設を良好な状態で維持するよう努め、利用者の安全な環境が保たれた。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030206	事務事業名	牧園みやまの森運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用の少ない平日の利用促進、及び利用頻度の少ない施設の多目的に利用できる施設を整えることにより利用者の増加の可能性はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民全体の競技力、健康増進を図ることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・みやまの森だけでなく、市内のどの体育施設も建設からけなりの年数が経過しているため老朽化が激しいが、可能な限り市民(利用者)の声を反映できるよう改修(修繕)に取り組んでいく。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	・2020年の国体会場でもあるので担当部署と連携しながら整備、改修を進めていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030207	事務事業名	牧園B&G海洋センター管理運営事業	担当部	市民環境部	
				担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	阿久井 洋一	
施策名	03	スポーツの振興		グループ	地域振興・教育G	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	5565	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費		関係法令・条例等 霧島市牧園B&G海洋センターの設置及び管理に関する条例		
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市牧園町高千穂3311番地10 施設及び開館日:牧園B&G海洋センター体育館(昭和55年)、牧園B&G海洋センタープール(昭和56年) 開館時間:体育館 8:30~22:00、プール 7月~9月開館 9:00~21:00

【指定管理者】福地産業(株) 指定期間:平成27年度~平成31年度

【主な利用料金】体育館(190円/時間)、プール(210円/回)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	2	2	2	2	2
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	4	7	7	7	7
ウ	指定管理者による自主事業利用者確保のためのPR回数	回	2	7	7	7	7

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ								
ウ								

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	99.0	80.0	99.0	80.0	80.0
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	9,304	10,000	9,721	10,000	10,000
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると考える人の割合	%	39.9	43	***		
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
牧園B&G海洋センターの指定管理者制度は現在3期目に入っている。同時に管理している国民体養地の利用者に対して体育館やプールを案内し利用促進を進めていることなどもあり利用者数が増加傾向にあるが、施設の老朽化により雨漏り等改修が必要な状態である。意見として「雨漏りを修理してほしい」「老朽化が目立つ」など施設改修の要望もある。また、職員の対応が良いという意見が大変多い。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0	0
				一般財源	千円	4,227	2,798	2,590	2,747	0
				事業費	千円	4,227	2,798	2,590	2,747	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 2,590,000円  【市の活動実績】 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回	・利用者アンケートでは90%以上の人から総合的な印象や施設設備の満足度が満足・やや満足という結果を得られ、職員の対応がよかったという意見が多く寄せられている。しかし、施設の老朽化による雨漏りなどがあり改修の要望がある。

事務事業コード	0110070304030207	事務事業名	牧園B&G海洋センター管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツをすることで、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあいまちづくりにつながることから、市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	B&G指導員による屋内競技及びプールを利用した自主事業を継続的にを行い利用増につなげていくことで施設利用の総合的な向上が確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民全体の競技力、健康増進を図ることから妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・施設の管理運営について、これまで以上に利用者サービスの向上に努めることにより、国民休養地を含めた利用者に対して施設の利用を周知したり、自主事業を積極的に行い、更なる利用者増を図りたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	・施設(体育館、プール)の老朽化が激しく、B&G財団の助成制度を活用して改修を進める方向である。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070304030208	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	中馬 聡		
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G		
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	3961		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市営体育施設管条例	
	項	07 保健体育費					
	目	03 社会体育施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日:隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、開館時間:8:30~22:00

【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】隼人運動場ソフトボール1面(210円/時間)、隼人体育館バレーボール1面(220円/時間)、隼人武道場1面(110円/時間)、隼人弓道場(50円/回)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)	32年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	4	4	4	4	4
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	90	100	71	100	100
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	90	100	71	100	100

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)	32年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	51.0	60.0	53.1	60.0	60.0
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	141,733	145,000	119,103	145,000	145,000
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43	***		
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っている。特に緊急の修繕・改修の必要性はないが、床の研磨やバスケットボールのルール改正に伴うコートラインの改修要望が関係団体からあがっている。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	32年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	450	20,000	17,989	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,309	33,284	31,486	13,525	0
	事業費	千円	13,759	53,284	49,475	13,525	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組)	(2) 平成29年度の成果
<p>&lt;取組内容を数値等により具体的に記載&gt;</p> <p>【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 1,332万円</p> <p>【市の活動実績】 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</p>	<p>&lt;左記の実績(取組)による成果を記載&gt;</p> <p>・今年度は鹿児島国体に向けて、隼人体育館のLED工事により体育館が約2ヶ月以上閉館となったため、施設利用者は昨年と比べ減少した。 ・利用者アンケートでは、「スタッフの接客対応について」の項目で、「不満足」「やや不満足」が0%であった。 ・市としては、指定管理者と協力のもと施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。</p>



事務事業コード	0110070304030208	事務事業名	単人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が社会体育施設をいつでも利用できる環境をつくることは、スポーツを「見る」「する」「支える」の3つの観点からも、スポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上し、スポーツを楽しめる環境を作ることになるため、基本事業の意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを楽しめる環境をつくり、健康及び競技力の向上を図ることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者アンケートで一番評価が低かった「施設設備の充実」は、利用者のニーズを考慮しながら、老朽化した設備や備品について、指定管理者とも協議しながら、修繕や買い替え等の整備に努めていきたい。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	地域のスポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。施設自体も年月が経っており老朽化が激しく、施設の修繕等が必要である。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の生きがいづくり、福祉を増進するものであり、施設としては、誰でも利用する事が可能であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者アンケートの結果で、満足・やや満足と回答した方が昨年度と比較して増加したことから、今後も継続して利用者に満足してもらえよう、指定管理者と協力して運営していきたい。また、不満足度で一番低い評価を受けたのが「施設設備の充実」であった。今後は、利用者のニーズに配慮し、年次的に老朽化した備品や不足している設備等について整備していく必要がある。また当該施設は、平成32年にかごしま国体のハンドボールが開催予定であることから、全国から多くの関係者をお招きする施設として必要な改修・整備を積極的に進めたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	般利用者の安全性・利便性を考慮し、平成32年度のかごしま国体のハンドボール競技の開催に向けて必要な施設の改修・整備を計画的に進めていきたい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070304030209	事務事業名	単人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部		
政策名	04 育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課				
施策名	03 スポーツの振興	担当課長	中馬 聡				
基本事業名	02 スポーツ環境の整備	グループ	スポーツ振興G				
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市営プールの設置管理に関する条例・霧島市営体育施設設備条例	
	項	07 保健体育費					
	目	03 社会体育施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:(霧島市単人庭球場・単人健康温水プール)霧島市単人町松永1678番地1、(単人温水プール)霧島市単人町松永二丁目80番地 施設及び開設日:霧島市単人庭球場(平成15年寄附)、単人健康温水プール(平成16年)、単人温水プール(昭和44年)  
開館時間:単人庭球場8:30～21:00、単人健康温水プール・単人温水プール10:00～21:00

【指定管理者】NPO法人単人錦江スポーツクラブ、指定期間:平成27年度～31年度

【主な利用料金】単人庭球場:1コートにつき250円/時間(児童生徒は半額)、単人健康温水プール・単人温水プール:一般310円/回、高齢者・児童生徒160円/回

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	125	125	125	125	125
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	125	125	125	125	125

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	76.0	80.0	70.9	80.0	80.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	39,342	45,000	41,870	45,000	45,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43	***		
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

単人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っており、利用者アンケートでも満足度が高く、年々利用者が増加している。しかしながら単人温水プールは経年劣化による老朽化が著しく、ポンプ等の設備の損傷が増えてきている。また、温泉水汲み上げポンプの不調やトイレの洋式化、冬場に隙間風が入り込む、庭球場に関してはハードコートに亀裂が入っているため改善の要望がある。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	19,942	19,872	19,872	19,851
		事業費	千円	19,942	19,872	19,872	19,851

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 1,990万円</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 3件、1,142千円</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三期目の3年目を迎え安定した利用者数の確保が図られた</li> <li>・利用者アンケートでは施設運営の満足度において71%が満足・やや満足と回答された。昨年度と比較して割合がわずかに減少した。</li> <li>・市としては、3件の修繕、設備修繕を行い、施設の維持管理に努めた。</li> <li>・多数の自主事業講座を開講することができた。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030209	事務事業名	単人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が社会体育施設をいつでも利用できる環境をつくることは、スポーツを「見る」「する」「支える」の3つの観点からも、スポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上し、スポーツを楽しめる環境を作ることになるため、基本事業の意図に結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを楽しめる環境をつくり、健康及び競技力の向上を図ることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者アンケートの「今後どのような運営の望むか」という問いで最も回答が多かったものが、「施設設備の充実」で30%、つづいて「施設の清潔度」で21%であった。指定管理者と協議しながら、必要な整備を進めていきたい。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	地域のスポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で市民活動においては不可欠な施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。施設自体も建設当初から年月も経っており老朽化が激しく、施設の修繕等が必要である。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の生きがいづくり、福祉を増進するものであり、施設としては、誰でも利用する事が可能であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者アンケートの結果より、一番低い評価を受けたのが「施設の案内標示」と「教室・講座の内容」でともに4%であった。施設の案内標示に就いては、利用者に不便な点がないよう、適切な案内に努め、教室・講座については受講者ニーズの把握や開設回数・改善を行いたいと考え、利用者に満足してもらえるよう、指定管理者と協力して行ってきたい。またこの施設は2つのプールを持っているが、重大な事故が起らないよう、今後もより一層危機管理に努めていきたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	利用者アンケートの結果より、一番低い評価を受けたのが「施設の案内標示」と「教室・講座の内容」でともに4%であった。施設の案内標示に就いては、利用者に不便な点がないよう、適切な案内に努め、教室・講座については受講者ニーズの把握や開設回数・改善を行いたいと考え、利用者に満足してもらえるよう、指定管理者と協力して行ってきたい。またこの施設は2つのプールを持っているが、重大な事故が起らないよう、今後もより一層危機管理に努めていきたい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030210	事務事業名	福山地区運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	松下 昭典	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	地域振興・教育グループ	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 ~ H31 )		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例・霧島市福山プールの設置及び管理に関する条例		
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市福山町福山6346番地・霧島市福山町福山5290番地61・霧島市福山町福山2962番地1、施設及び開館日:まきはドーム(平成14年)、まきのはら運動公園多目的広場(平成22年)、福山多目的交流施設(平成13年)、福山パークゴルフ場(平成13年)、牧之原運動場(昭和52年)、福山体育館(昭和56年)、福山プール(平成20年)、管理棟(平成28年)、開館時間8:30～22:00  
 【指定管理者】さきしまPPP(株)、指定期間:平成27年度～31年度  
 【主な利用料金】まきはドーム(160円/時間)、まきのはら運動公園多目的広場(1,200円/時間)、福山パークゴルフ場(250円/1ラウンド、500円/1日)、牧之原運動場(300円/時間)、福山体育館(440円/時間)、福山プール(210円/時間)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定管理数	施設	9	9	9	9	9
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	38	40	38	40	40
ウ	指定管理者による自主事業実施数自主事業実施利用者確保のためのPR回数	回	38	40	38	40	40

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	39.0	50.0	36.0	50.0	50.0
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	81,304	92,000	86,848	94,000	94,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	39.9	43.0	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

福山地区運動公園施設の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在3期目に入っている。利用者数が管理運営制度時と比較して増加傾向にある。施設利用者からは、施設の改修等の意見がある。

4. 事業費の推移

単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)		
事業費 投入量	国庫支出金	千円	14,580	7,495	5,440	0	0
	県支出金	千円	6,626	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	45,990	28,834	46,561	21,698	0
事業費	千円	67,196	36,329	52,001	21,698	0	

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料実績 21,339千円</li> </ul> <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕 3件 858千円</li> <li>指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としては、砂利駐車場をアスファルト舗装し利用者の利便性の向上が図られた。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030210	事務事業名	福山地区運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することは、スポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の早急な改修・修繕等を行うことにより利用者の増加、施設の総合的な印象を確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり、統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており、一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、指定管理者を管理監督する役割が義務付けられており、施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っている。これらは、指定管理者の適正な運営を確保するために、必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民福祉の向上を目的とするものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	三期目4年目がスタートすることから、施設の管理運営についてこれまで以上に利用者サービスに努める。当施設は、2年後開催予定の鹿児島国体のサッカー女子の会場になっていることから、オーバーシードを継続実施し施設の安定的な維持管理を行っていく。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	当施設は、平成32年に鹿児島国体のサッカー女子が開催予定であることから、平成28年度より実施している多目的広場のオーバーシードを継続実施し、安定的な芝の状態を確保する。また、老朽化した施設の改修を計画する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070304030211	事務事業名	体育施設維持管理事業(指定管理者以外)	担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡		
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	スポーツ振興G		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			特に無し 特に無し		
	項	07 保健体育費					
	目	03 社会体育施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特に無し		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

スポーツ・文化振興課及び各総合支所地域振興課が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直営施設の管理運営と、市が行わなければならない1件あたり10万円(消費税含む)以上の修繕を行う事業。  
 【事務事業の流れ】  
 4月下旬までに各所管課より修繕依頼を提出 ⇒ 5月中旬までに各施設の修繕要望箇所を把握。必要に応じて現地調査。⇒ 5月中旬までに優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当 ⇒ 各地区において修繕の執行

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 修繕を実施した件数	件	45	50	40	50	50
イ 購入した備品の件数	回	9	42	8	42	40
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 施設を開館する	閉館した施設数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	59	70	66	70	70
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると考える人の割合	%	39.9	43.0	***		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

合併後、保健体育課が所管するスポーツ施設は64施設に膨れ上がり、施設の維持管理が重要なウェイトを占めている。トイレの改修や施設状態の改善を求める利用者ニーズが多く、経年劣化も重なり、安心安全や法律等の制約があるものから優先順位を付しながら、備品の改修や修繕を実施している状況である。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	22,011	120,000	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	4,313	278	278	256	0
	一般財源	千円	24,590	25,750	5,558	24,970	0
	事業費	千円	28,903	26,028	27,847	145,226	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【直営施設実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11施設</li> </ul> <p>【10万円以上の修繕実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40件、13,164,603円</li> <li>・指定管理者との打合せ、40回程度(修繕箇所の都度協議)</li> </ul> <p>【備品購入の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8件、1,999,344円</li> <li>・指定管理者との打合せ、8回(備品購入の都度協議)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。</li> <li>・大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。</li> <li>・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。</li> </ul>

事務事業コード	0110070304030211	事務事業名	体育施設維持管理事業(指定管理者以外)	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ施設への関心が高まり、安心して利用できることは、スポーツ環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設の設置者(所有者)である市が、自ら維持管理する必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の経年に伴い改修箇所は増加する傾向である。予算の投入量によっては長寿命化が図られ、施設利用者の総合的な印象が向上する余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設は、市民がスポーツをする上で欠くことのできない場である。スポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・停止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ施設は、運動・スポーツ活動の拠点であり、利用回数と時間の経過とともに磨耗・劣化するものであることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、本庁分に合わせて5総合支所分も担っており、これまでも合理化を図ってきていることから、現状の事務量は適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものである。個人利用や団体利用に対して等しく活動スペースを提供しており、そのための公費の投入は妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各施設の経年劣化が目立ち、利用者も偏っている施設もあることから、継続すべき施設、そうでない施設の仕分けを進める。危険箇所、法令上必要な修繕等を順次行い、安心・安全に利用し、施設設備、環境、衛生面ともに工夫して充実を図りたい。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	施設の不備等においては、即事故につながることから、修繕等においては速やかに対応し、利用者の安全を確保するとともに、平成31年度開催の南部九州高校総体、平成32年度開催のかがしま国体・かがしま大会の練習、合宿会場となることを想定し、来場者等が快適に利用できる環境を整備する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



1. 基本情報							
事務事業コード	0110070204030301	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	中馬 聡		
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興グループ		
基本事業名	03	スポーツ団体の育成		内線番号	3962		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	07 保健体育費					
	目	02 社会体育振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。  
 ・内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施  
 ・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団1団(市スポ少1,000円)であり、29年度の団登録受付期間は4月24日～5月31日まで、追加登録受付期間は6月1日～7月31日までである。  
 ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給  
 ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等  
 ・スポーツ少年団活動領域にかかわる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	11	11	11	11
イ 競技種目数	種目	12	12	12	12
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	1,169	1,150	1,184	1,200
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	71	71	68	71
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト参加者)	%	9.0	15.0	9.2	15.0
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	228	345	288	345
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 活動が活性化する	体育協会及びスポーツ少年団の会員数	人	12,179	15,000	11,644	
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。一方、少年団の活動分野に囚われずに活動したい指導者や子どもたちが、少年団ではなく、任意のスポーツクラブに加入する傾向がある。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	31年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,500	1,500	1,500	1,500
事業費		千円	1,500	1,500	1,500	1,500	

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<p>スポーツ少年団は、スポーツを通じた青少年の健全育成を目的に、指導者・育成母集団の役割と活動に関する事業を実施した。例えば、総会、競技別交歓大会、指導者研修会、フェスティバルである。平成28年度実績で、登録団数が68団、団員数1,184(男子793名、女子391名)指導者293名。また、その中には、中学男子45名、女子23名、高校男子2名、女子1名が含まれている。また、団員が揃わずに登録できない団や登録をせずに独自で活動している団体もある。特に総合型クラブや、体育協会との連携も含めて子どもの健全育成という観点からのスポーツ少年団の果たす役割を積極的に啓発した。</p>	<p>スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、スポーツ少年団を育成する役割は重要であることを、指導者や育成会に指導・通知してきたが、まだまだスポーツ少年団本来のあるべき姿からかい離している団も少なからず存在する。今後も、指導者や育成会に対し、少年団の本来の活動領域と指導のあり方を通知・指導し社会問題化している行き過ぎた勝利至上主義や、暴力行為、団員の燃え尽き症候群的な事例を抑制し、青少年育成の場であることを指導したい。</p>
---	---

事務事業コード	0110070204030301	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ少年団の活動を通して、基礎体力が向上し体力テストの結果が向上することは、少年団の活動が活性化するものであり意図に結びつく。また、各団が奉仕活動等へ参加し、その団員数が増えることは、少年団の活動が活性化するものであり意図に結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	毎年実施している小学校5年生と中学2年生の体力テスト結果を見ると、全国と比較した鹿児島県、鹿児島県と比較した霧島市の子どもたちの体力低下が指摘されている。スポーツ少年団の活動を通して子どもたちの健全な育成という観点から市が行わなければならない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	競技至上主義だけでなく、スポーツを通じた健やかな子どもの育成のため、団員の基礎体力向上を図ることや、社会活動や地域行事への参加により今後も成果の向上余地は十分にある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	子どもたちの体力・運動能力は全国平均から比べて低い状況である。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を狭めるてしまうこととなり、目的である青少年の健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	少年団の指導・育成のための補助金であり、削減することで子どもたちの負担が増加することになる。健全育成に要する成果も下がることになり、現時点で削減は困難である。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	少年団に関する事務や育成指導については、スポーツを通じた健やかな子どもの育成、推進を図るものであり、現在、必要最低限の職員で事務を行っており、また現在、業務を委託できる団体はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	年々児童数が減少していることから、スポーツ少年団に加入している児童数及び団数が減少している。団の存続ができずに市外の団と合併し活動場所を市外に移した団もある。今後もスポーツ少年団活動が青少年育成の場となるよう、勝利至上主義や行き過ぎた指導がないよう、指導者研修会の開催や県が行う講習会へ積極的に参加を促していく必要がある。また活動回数や1日の活動時間を守るよう指導する。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	平成30年度の取組みを継続するとともに、体育協会との調整を図り、事務事業の効率化を検討する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



<b>1. 基本情報</b>										
事務事業コード	0110070204030302	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業				担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	03	スポーツの振興				担当課長	中馬 聡			
基本事業名	03	スポーツ団体の育成				グループ	スポーツ振興G			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 30 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	10 教育費					根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	07 保健体育費								
	目	02 社会体育振興費								
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画				
<b>2. 事務事業の概要・目的・指標 &lt;Do&gt;</b>										
<b>(1) 事務事業の概要</b> (具体的なやり方、手順、詳細を記述)										
各種体育大会の予選を勝ち抜き九州及び全国大会への出場が決定しているもの、各種体育大会の県選抜の一員として、又は、各種体育団体の代表者からの推薦を受け九州及び全国大会への出場が決定しているものに補助金を交付する。 [補助金の交付対象] ①市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、(財)日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。) ②市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体((財)全国高等学校体育連盟加盟校、(財)日本高等学校野球連盟加盟校は除く。) [補助金の額] ①九州大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体25,000円 個人5,000円、左記以外 団体10,000円 個人3,000円 ②全国大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体45,000円 個人10,000円、左記以外 団体25,000円 個人6,000円 *九州・全国大会が県内開催時の場合は、予選大会の結果が準優勝以上の場合のみ交付し、補助金の額は、団体10,000円 個人3,000円										
<b>(2) 事務事業の目的</b>										
<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)										
	補助を行った件数	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)	31年度 (見込)		
ア		件	57	65	82	70	70			
イ										
ウ										
<b>(3) 上位の基本事業</b>										
<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)										
<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)										
	市民	人口	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)		
ア			人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230		
イ										
ウ										
<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)										
<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)										
	出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
ア			人	294.0	300.0	283.0	300.0	300.0		
イ										
ウ										
<b>(4) 基本事業の意図</b> (さらにとどのような成果に結びつくのか)										
<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)										
	活動が活性化する	体育協会及びスポーツ少年団の会員数	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
ア			人	12,179	15,000	11,644				
イ										
ウ										
<b>3. 事務事業の環境変化・市民意見等</b> (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)										
各種団体が出場する経費として、その一部を補助している。競技スポーツの振興が図られる一方で、申請件数が年々多くなり予算不足を生じる年もある。交付を受けた団体からは遠征費の一部になり経済的に助かったとする意見がある一方、補助額をもっと増額して欲しいとの意見もある。										
<b>4. 事業費の推移</b>										
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	654	700	1,000	700	0	0	
		事業費	千円	654	700	1,000	700	0	0	
<b>5. 平成29年度の実績及び成果</b>										
<b>(1) 平成29年度の実績(取組)</b> <取組内容を数値等により具体的に記載>										
全国大会、九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付した。市として応援しているという意味合いを込めて激励的な補助金を交付することで、参加者の目標や励みになり、霧島市のスポーツ振興が図られた。 【平成29年度実績】 ① 大会別の交付件数 九州大会:31件、全国大会:51件 計82件 ② 個人・団体別の交付件数及び交付額 個人:62件 435,000円 団体:20件 570,000円 計 1,005,000円										
<b>(2) 平成29年度の成果</b> <左記の実績(取組)による成果を記載>										
各種大会に出場し優秀な成績を納めたことにより、各競技の底辺拡大が図られ、併せて一般市民のスポーツに対する関心が高まった。また、大会出場に関し、助成や側面的な支援等を行うことで、参加選手の励みになり、競技力の向上が図られた。また、個人の経費負担が軽減されるとともに、全国へ霧島市をPRすることができた。										

事務事業コード	0110070204030302	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、予選を勝ち抜き大会出場補助金の支給を受け、出場経費の個人負担が軽減される全国、九州大会出場者が増えることは、スポーツ活動が活性化することで意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	九州大会や全国大会で市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	当該事業を継続していくことで市民の間に制度が定着し、競技スポーツ振興に対して気運が高まり、生涯スポーツから競技スポーツへ取り組みが顕著になり市民に活力が生まれる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担が増え優秀な選手、団体のモチベーションをそぐことになり、市の競技スポーツの振興が抑制される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金という性質上、民間参入や別な制度での対応は考えられない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	昨年度まで、霧島市スポーツ協会の法人化に伴う事務委託を念頭に入れていたが、当協会の法人化も当面の間延期されることとなったため、現段階で人件費の削減は困難であるとする。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鹿児島県予選を勝ち抜き、県代表として参加する全国・九州大会への一律的な交付である。開催地の遠近についての考えはなく公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成29年度の交付実績は、昨年度と比較して、件数で143.8%、交付額で153.6%といずれも増加し、多くの団体・個人が上位大会へ参加したことで競技スポーツの振興が図られた。九州・全国大会での霧島市代表選手・チームの活躍は、青少年をはじめ、多くの市民に夢や感動を与え、また、地域コミュニティの一員としての地域への誇りと連帯感を育むものであり、活力ある地域づくりを進めていくうえで大きな意義があるため、平成30年度も継続して事業を実施する。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	競技種目によっては、予選大会での結果が特に優れていなくても複数のチームが九州・全国大会へ出場できる事例もあるため、他競技との公平性を保つための手段を検討する。また、市の競技スポーツの振興を図るため、学校、体育協会並びに競技団体などと連携し、中長期にわたる強化計画により、全国大会等で好成績を収める選手の育成や指導者の養成を行うとともに、本事業の更なる浸透を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

<b>1. 基本情報</b>		<b>事務事業コード</b> 0110070204030303		<b>事務事業名</b> 市体育協会運営支援事業	<b>担当部</b> 市民環境部
<b>政策名</b> 04 育み磨きあうまちづくり				<b>担当課</b> スポーツ・文化振興課	
<b>施策名</b> 03 スポーツの振興				<b>担当課長</b> 中馬 聡	
<b>基本事業名</b> 03 スポーツ団体の育成				<b>グループ</b> スポーツ振興G	
<b>予算科目</b>	<b>会計</b> 一般会計	<b>事業期間</b>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	<b>款</b> 10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	<b>項</b> 07 保健体育費				
	<b>目</b> 02 社会体育振興費				
<b>評価区分</b>	標準評価	<b>評価対象</b>	1次評価	<b>関連計画</b>	霧島市スポーツ振興計画

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)**

市体育協会への補助事業であり、体育協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。  
 ・霧島市体育協会加盟団体数・会員数 32団体約10,500人  
 ・種目 陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・クレー射撃・空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道・パワーリフティング 全32種目  
 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加。当協会の事務局員として関与している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	各競技団体による大会の開催	回	220	200	206	200	200
イ							
ウ							

**(2) 事務事業の目的**

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	市体育協会加盟団体	加盟団体数	団体	31	32	32	33	33
イ	各団体	加入者数(総数)	人	11,010	12,000	10,460	12,000	12,000
ウ								

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	各競技団体の活性化を図る	新しく企画した大会の数	回	2.0	3.0	10.0	3.0	3.0
イ	各競技団体の活性化を図る	定期的に開催される大会の数	回	220	260	206	260	260
ウ								

**(3) 上位の基本事業**

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	活動が活性化する	体育協会やスポーツ少年団に加入している人数	人	12,179	15,000	11,644		
イ								
ウ								

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
 国の保健体育審議会答申「体育・スポーツの振興に関する基本方針について」を受け、市民一般の体育・スポーツの振興に力点をおくようになったのがきっかけ。平成18年6月23日に霧島市体育協会設立総会を開催し、旧1市6町の体育協会が一つに統合された。体育協会に加盟せず活動をする団体が増えてきている。県民体育大会への出場や競技団体の運営に当たり補助金の増を求められる。

**4. 事業費の推移**

		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	19,375	19,288	19,288	19,256
		事業費	千円	19,375	19,288	19,288	19,256

**5. 平成29年度の実績及び成果**

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市体育協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、32の競技団体を傘下に置き、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を目的とした事業を展開し、大会、組織強化、育成大会等を開催し競技力向上を目指した。また、新たな取り組みとして、誰もが楽しくスポーツや運動に親しんでいただける体験型スポーツイベント「霧島スポーツまつり2017」を体育の日に開催した。さらに、2020年に本市でも開催されるかごしま国体・かごしま大会を見据え、愛媛国体の視察を行った。なお、職員の事務の関与については、監査・総会・理事会・役員会時の出席、地区体育大会時の激励、県民体育大会時の激励等が主な内容。	市体育協会は市に代わって、スポーツの底辺拡大を担っている組織であり、市のスポーツ振興を図る上できわめて重要な役割を果たしている。体育の日にはスポーツ振興の一環として、「霧島スポーツまつり2017」を開催し、延べ約5,000名が来場し、各競技の魅力伝えるなど、スポーツ振興が図られた。また、愛媛国体を視察することで、かごしま国体・かごしま大会の開催における役員、理事、会員等の意識向上が図られた。

事務事業コード	0110070204030303	事務事業名	市体育協会運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市体育協会である各種競技団体の活性化を図るため大会等を開催し、数多くの大会が開催されることは、当協会の活動が活性化することから意図に結びつく。また市体育協会主催のスポーツイベントを開催することで、本市のスポーツ人口の拡大に繋がっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の継続的な運動習慣の構築は大きな目標である。多くの市民が参加する各種スポーツ団体の振興を図ることは、市民のスポーツ活動を支える新しい公共の担い手として、当協会の安定的な運営は必要であり、市からの支援は継続していく必要があることから市が当協会の支援を行わなければならない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民が気軽にスポーツをすることができる地域スポーツ社会の形成は、体育協会の各種競技団体が中心となり、スポーツ指導から体力づくり、健康づくり、地域づくりといった視点で、連携していくことが大切であることから、地域へのさらなるアプローチや他団体との連携が必要であることから向上の余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業を廃止することで各種競技団体の運営に支障をきたし、団体に所属する市民のスポーツ競技力・体力・健康増進の低下につながり、市に代って行われる「するスポーツ」「支えるスポーツ」の振興が図られなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	27年度に各種競技団体の補助金や育成費等の見直しを行っており、30年度においても更に見直しを検討しているが、加盟団体も増えて更に各競技団体の活動が活発になるため、削減は困難と考える。かごしま国体・かごしま大会後に検討している法人化となれば、新たな財源を生み出し、事業費を削減できる余地はある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	32の競技団体が1年を通じて大会や組織強化、育成等のイベントを開催し、競技力向上と、底辺拡大を目指して活動している。それらの事務の取り扱いを同協会採用の事務局書記が取り扱っており、これ以上の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市体育協会は、各種競技団体に加入する市民を対象とした組織であり、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	29年度の秋から法人格を取得し、一般社団法人として新たな運営を予定していたが、事務所の開設や人員の不足等の理由で、かごしま国体・かごしま大会後に再度検討することとなった。今後も、行政と体育協会が連携し、より充実したスポーツ振興が図れるよう支援を行い、また、法人化に向けて諸課題の解決に向け協議・検討を重ねてまいりたい。						
	引き続き、法人化に向けた検討・協議を行う。またかごしま国体・かごしま大会に向けた協力体制を整えていくことが必要なことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070204030304	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	中馬 聡		
基本事業名	03	スポーツ団体の育成		グループ	スポーツ振興G		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 36 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例	
	項	07 保健体育費					
	目	02 社会体育振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内各地区から推薦を受けた者を市がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のため指導・助言を行う。

- ・各地区のスポーツ推進委員(国分27人、溝辺12人、横川7人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計91人
- ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等  
 ミニバレーボール大会(国分地区)、ニュースポーツ指導(全地区)、県地区対抗女子駅伝競走大会(国分・隼人地区)、県下一周駅伝大会(溝辺、霧島を除く全地区)、上野原縄文の森駅伝大会(国分地区)等
- 職員は各地区の担当者が事務局として関与。市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を下支えしている。スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行なう。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア スポーツ推進委員開催行事	回	9	9	10	10	10
イ 会議の回数	回	87	50	50	50	50
ウ 指導回数	回	35	35	39	35	35

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の数(各地区より)	人	91	91	91	89	89
イ 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア スポーツ推進委員の指導力が向上する	出前講座(ニュースポーツ講座)派遣回数	回	35.0	35.0	39.0	35.0	35.0
イ 市民のスポーツへの関心が高まる	スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合	%	43	45	40	45	45
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 活動が活性化する	体育協会やスポーツ少年団に加入している人数	人	12,179	15,000	11,644		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

スポーツ振興法(現:スポーツ基本法)に基づき、スポーツの実技や指導を行える体育指導委員(現スポーツ推進委員)として位置付けられた。高齢化が進む中、若い指導委員の確保が困難である。活動中の身分は非常勤特別公務員。職員に代わって、地域のスポーツ指導をはじめ市と市民との連絡調整役が主な業務。地区・県・九州で定期的な資質向上のための研修会が開催され、予算の範囲内で受講し研鑽を深めている。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	8,499	8,199	7,641	9,170
		事業費	千円	8,499	8,199	7,641	9,170
投入量							

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
組織改編から2年目を迎え、各部会(総務・研修・女性部会)ともに活発な活動が行われた。 ・研修部会により、夏季1回、冬季1回の研修を予定したが、夏季研修は台風接近のため中止となった。 ・女性部会において、女性推進委員活動の実状等についての意見交換と今後の活動内容について協議を行った。 ・県地区対抗女性駅伝、県下一周駅伝、上野原縄文の森駅伝において、大会運営・補助業務にあたった。	・地区単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画・運営・指導・連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進を図った。 ・部会制を設けたことで、スポーツ推進委員の意識の高揚が図られ、活動の活性化につながった。 ・研修部会を設置したことで、前年までの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、新たに市独自の研修会を実施し、より実状に近い内容で取り組むことができた。 ・小学校、家庭教育学級、地区子ども会等へニュースポーツの実技指導を行ったことにより、親子のふれあい、地域のコミュニケーションづくり、スポーツへの興味・関心の高揚等が図られた。

事務事業コード	0110070204030304	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ推進委員が担う、市民に対するスポーツの実技指導(出前講座等)、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整、その他スポーツに関する指導・助言などを通じ、市民のスポーツへの関心が高くなり、スポーツを行なう環境整備が図られることから、基本事業の意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法の規定により、各自治体にスポーツ推進委員を置くことになっている。また、スポーツ推進委員は市の非常勤特別公務員として位置づけられているため、妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域でスポーツに関する指導・助言に対する報酬、及び資質向上のための研鑽に要する費用のため、向上の余地はない。一方、市民からの要請である出前講座は年によって変動することから向上の余地がある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民スポーツの普及・推進を担う責務を負っているため、休止はできない。またスポーツ基本法に基づき委嘱する委員であり、廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	費用は報酬と費用弁償である。地域活動のなかではボランティアで行っている状態であり、成果を上げれば上げるほどボランティアの人数が多くなるため、これ以上の削減はできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ推進委員は、職員に代わって地域のスポーツ活動を推進する業務を担っており、職員は事務的な業務を担っている程度であり、最低限度の関与であることから、これ以上の削減はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が委嘱しているスポーツ推進委員が指導を行うニュースポーツ等については、出前講座のメニューにもなっており誰でも受講できることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各地区での活動はもとより、昨年度から導入した各専門部会の活動を充実させることで、霧島市スポーツ推進委員協議会全体の意識、知識、技術の向上を図る。また、スポーツ推進委員の地区、県、九州、全国研修への積極的な参加を促すほか、市単独の研修会を開催し、必要なスキルを身につける。一方で、活動が活性化されたことに伴う予算措置ができておらず、スポーツ推進委員の中から不満が聞かれる状況にあるため、必要な予算については確実に措置できるよう努める。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	霧島市スポーツ推進委員協議会の専門部会を活性化し、市民からの幅広いニーズに対応するため、研修、実践を継続する。また、出前講座での積極的な派遣や、講座内容の充実等、市民が気軽にスポーツや運動に親しめる環境を整備するとともに、日頃から関心を持ち、継続を促進できるよう、委員のスキルアップを図る。さらに、「障がい者、高齢者ニュースポーツの普及」を目標に自治組織、市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、保健福祉部局等と連携を図り、体力づくり、健康づくり、地域づくりといった視点で、霧島市スポーツ推進委員の効果的な活用を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01100606040102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	04	文化の振興		担当課長	中馬 聡	
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		グループ	芸術文化グループ	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 14 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費		特になし <small>根拠法令・条例等</small>		
	項	06 社会教育費				
	目	06 文化振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

公募展として、霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境に関するもの、ジオパークなどを捉えた自由部門と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えるエアポート部門を加えた写真展を開催することで、写真に対する関心を深めてもらうと共に、合わせて霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めていただくきっかけ作りにつなげて貰うことを目的とする。(応募作品撮影期間 1月～12月)

手順 ①開催要項の決定→②募集チラシの作成・広報→③応募作品の受付→④応募作品の審査→⑤秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	出品点数	点	415	500	438	500	500
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	写真展鑑賞者数	人	5,550	6,000	5,690	6,000	6,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
写真に対する関心を高めてもらう	写真展出品者数	人	130.0	200.0	123.0	210.0	220.0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	96,404	93,000	93,616		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

旧国分市の市制50周年を記念し創設された写真展であったが、合併後、霧島市全域を対象とした写真展として継承した。近年デジタルカメラや携帯電話の普及により、気軽に撮影できる環境が整ったことにより、今後も多くの愛好家の皆さんの参加が見込める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	440	340	225	220
	一般財源	千円	83	334	437	584
事業費	千円	523	674	662	804	804

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

展示期間 平成30年3月1日～3月15日(ジビックセンター市民ギャラリー) 巡回展 平成30年3月16日～9月18日(8会場) 応募総数 438点 応募者数 123名	県内外、遠くは東京、静岡からの応募もあったが、霧島市に因んだ題材ということで圧倒的に県内居住者が多い。 また、毎年継続して出品される方々以外に、30～40名の新しい出品者がおられる事は、底辺拡大につながっている。
--	---



事務事業コード	0110060604040102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	写真愛好家の皆さんが撮影した作品を募集しコンテストを行うことが、毎年30名前後の新規の応募者につながっており、芸術文化に親しみきっかけづくりに結びついているものとする。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	元々、写真展は芸術作品としての取扱いでコンテストを開催しているが、近年、観光面や空港関連での配布グッズやパンフレットに掲載されることが多いなど、その2次利用が増加する傾向にある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	募集の方法を変える(四季やテーマ別)ことで、更に深い霧島市の魅力を創出される可能性が向上すると想定される。しかしながら、募集要項の変更により、芸術文化振興を目的とした芸術作品としての取扱いではなく、2次利用を主目的としたコンテストに更に傾注する懸念が生じる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止、休止による影響があるとするならば、先述した観光面や空港関連のPR部門に多少の影響は出てくるものと思慮する。また、継続する場合においても、絵画展との統合等を検討し、「総合芸術展」として、部門ごとに2～3年に1回の開催を行うことが望まれる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 きりしま美術展開催事業 毎年、同じ芸術部門を続けるのではなく、多くの部門の芸術作品を広く募集するために絵画展を含め隔年開催を模索するとともに、「書」や「工芸・彫刻」といった芸術作品の展覧会も視野に入れるべきであろうと考える。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	現時点では、事業費を毎年抛出しているが、隔年開催に移行できれば、2～3年に1回の抛出になることから経費削減につながるものとする。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業のみで考えると、事務事業の改善は毎年のように行っている。また、事業費の削減のため、委託に頼らず、直営事業として職員が担当しているため、人件費の削減には至っていない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	美術展同様、一部、応募者の固定化が見られるものの、30数人の範囲で新規の方々の参入も確認できることから、一部受益者に偏っているとは考えづらい。また、応募者には相応の負担を義務付けており、公平性は保たれているものと思慮する。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○			○		
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	写真展と美術展は合併以前から、15回を数える展示会を開催してきた。反面、「書」や「工芸」「彫刻」、「デザイン」や「パッチワーク」「アニメーション」といった芸術作品の公募展は未だに行われていない。公募展である以上、一部の部門にこだわることなく、その他の多くの部門にも門戸を広げ、「総合芸術展」として部門ごとに複数年に1回の開催を行えるよう検討をする必要がある。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	上記(2)について、平成30年度に検討を加え、早ければ平成31年度から展示会の隔年開催を実施したい。また、2020年には、「燃ゆる感動!かごしま国体、かごしま大会」を控えていることから、国体へ向けた文化プログラム(文化を通じた機運醸成)の構築という観点からも「総合芸術展」として取り組みを強化する必要がある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	市民環境部	有馬 博明			
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)総評	「総合美術展」については、その内容や関係団体との協議が必要であるため、引き続き検討を行っていく。							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01100606040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	04	文化の振興		担当課長	中馬 聡		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		グループ	芸術文化グループ		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費				特になし	
	目	06 文化振興費				特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

合併前の平成16年に旧国分市において始まった絵画展であるが、回数を重ねるごとに質と評価が上がっているように感じられる。第14回を迎える今年も、幼児から高齢の方々及び今年から新設した高校生部門まで総数2,587点の応募をいただいた。なお、今年から名称の変更による諸経費の増や大賞賞金の増等に対応するため、出品料を2,000円から3,000円に増額した。また、昨年まで実施していた「委嘱作家」制度を廃止した。美術展の運営につきましては、実行委員会を組織して次のとおりその任にあたっている。  
 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) (9月上旬)出品料 1点につき 3,000円  
 ③審査(9月中旬) ④表彰式及び展示(10月上旬)  
 ⑤搬出(10月下旬) ⑥巡回展(松下美術館、その後ジュニア部門は市内施設で実施)(11月～2月) ⑦実行委員会(精算事務)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	出品点数	点	2,654	2,700	2,587	2,800	2,850
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	美術展鑑賞者数	人	4,215	4,200	3,640	4,300	4,350
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 美術展に出展する	美術展出品者数	人	2,575.0	2,500.0	2,514.0	2,600.0	2,650.0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけ作りの活動に参加した延べ人数	人	96,404	93,000	93,616		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

過去には、議会から「絵画、写真、彫刻、書等の常設展示館的なもの考えはないか。」「霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか」などのご意見がある。また、合わせてきりしま美術展も回数を増すごとにそのクオリティが上がっているのご意見もあることから、合同芸術展への検討や常設展示会場の確保について協議を行う。

4. 事業費の推移

単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,270	1,270	1,270	1,618
	事業費	千円	1,270	1,270	1,270	1,618

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>本年度も庁舎ギャラリーを利用しての展示会を開催し、一般・ジュニア・高校生部門の全てを展示した。しかしながら、総選挙の期日前投票と時期が重なったことから、エントランスホールを使用できない状況が発生したため、2階吹き抜け部分の回廊を利用して一部展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示期間 平成29年10月7日～10月20日(14日間)</li> <li>・展示点数 578点(自由72、テーマ63、高校生12、ジュニア431)</li> <li>・鑑賞者数 延1,820人(推計)</li> </ul>	<p>表彰式も多目的ホールを利用できたことから、受賞者をはじめ、多くの方々にご来場いただくことができた。また、今年から新たな試みとして、トークショーとともにギャラリーコンサートとワークショップを開催したところ多くの市民に歓迎され大好評であったことから、次年度以降も市民に愛される美術展となるよう計画をしたい。</p>

事務事業コード	0110060604040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	きりしま美術大賞展のみならず、市内で開催される絵画展や近隣市町で開催される公募展など多くの出展機会があることは、これから芸術分野に足を踏み入れようと考えておられる市民の方にとっては良い事であると考えます。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	来年度には、一般部門15回、テーマ部門30回という節目の年を迎える。また、絵画のみではなく、「総合芸術展」として検討を要する時期を迎えているものと考えことから、見直しを前提に検討をする必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	人員や予算が増加しない現時点では、その向上余地に限界があるものと考えます。また、現状で向上を求めるのか、手法を変えて広い視野で向上を求めるのかも変わってくることから、近年中に霧島市としての方向性を打ち出す必要がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止や休止をした場合の影響は、少なからずあるものと思慮しますが、近隣の市町で行われている公募展や、(仮)「総合芸術展」の一部として公募を継続することで、その影響を最小限に留めることは可能であると考えます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 きりしまフォトコンテスト 運営方法の違いはあるものの、いずれかの方法に統一することで事業統合は可能であると考えます。また、絵画と写真だけでなく「書や彫刻、工芸」「デザイン」「花卉」などの芸術文化も含めた形での事業運営も検討課題である。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	現時点では、事業費を毎年抛出しているが、隔年開催に移行できれば、2～3年に1回の抛出になることから経費削減につながる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は、既に最小の経費まで抑えており、これ以上の経費削減は困難であると考えます。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	芸術文化は、往々にして愛好者の方々「一部受益者」と見られがちであるが、応募時には負担金を徴収する等、その運営経費の一部を負担していることを鑑み、公平性は保たれていると考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	写真展と美術展は合併以前から、15回を数える展示会を開催してきた。反面、「書」や「工芸」「彫刻」、「デザイン」や「パッチワーク」「アニメーション」といった芸術作品の公募展は未だに行われていない。公募展である以上、一部の部門にこだわることなく、その他の多くの部門にも門戸を広げ、「総合芸術展」として部門ごとに複数年に1回の開催を行えるよう検討をする必要がある。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	上記(2)について、平成30年度に検討を加え、早ければ平成31年度から展示会の隔年開催を実施したい。また、2020年には、「燃ゆる感動!かごしま国体、かごしま大会」を控えていることから、国体へ向けた文化プログラム(文化を通じた機運醸成)の構築という観点からも「総合芸術展」として取り組みを強化する必要がある。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	市民環境部	有馬 博明		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)総評	「総合美術展」については、その内容や関係団体との協議が必要であるため、引き続き検討を行っていく。						



<b>1. 基本情報</b>											
事務事業コード	011006004010106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業				担当部	市民環境部			
						担当課	スポーツ・文化振興課				
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				担当課長	中馬 聡				
施策名	04	文化の振興				グループ	芸術文化グループ				
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり				内線番号	3981				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )				
	款	10 教育費					特になし				
	項	06 社会教育費									
	目	06 文化振興費									
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし					

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民会館及び各学校で、児童・生徒に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を醸成することを目的としており、市町村による青少年劇場(小学校)と児童生徒芸術鑑賞会(中学校)については、3年に1回、全小中学校の児童生徒が鑑賞できる機会を作っている。また、劇団四季の事業「こころの劇場」により、毎年、小学校6年生全員が劇団四季公演を観劇できる機会を得ている。

上記以外に、鹿児島県と文化庁への申請により、能楽、バレエ、オペラ、邦楽等の鑑賞を出来る機会がある。

事務手続き(生徒芸術鑑賞会は除く)  
 県への開催希望申請 → 内定 → 学校との調整(日程調整・送迎バスの調整等) → 実施

<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 舞台演劇・コンサートの開催数	回	13	13	15	11	11
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,628	3,600	3,536	3,600	3,600
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小学生の数	人	7,437	7,500	7,488	7,500	7,500
ウ							
<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	6,431.0	5,500.0	6,553.0	5,600.0	5,700.0
イ							
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつくのか)	<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	96,404	93,000	93,616		
イ							
ウ							

<b>3. 事務事業の環境変化・市民意見等</b> (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	<b>4. 事業費の推移</b>	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
		事業費	千円	4,026	4,252	2,665	4,546
本事業のカギは、各小中学校との連絡調整作業であることから、教育委員会との連携はかかせない。また、事業実施にあたり、開催校で温度差があるように感じられる理由は定かではないが、芸術についての関心を高め、豊かな心の醸成を培う機会の公平性は保って行きたいと考える。	財源内訳 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,026	4,252	2,665	4,546

**5. 平成29年度の実績及び成果**

<b>(1) 平成29年度の実績(取組)</b> <取組内容を数値等により具体的に記載>	<b>(2) 平成29年度の成果</b> <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「しゃみせん色々スーパーセッション」6公演(11校) 溝辺小(竹子小)、日当山小(中福良小)、小野小(小浜小)、国分小 向花小、高千穂小(中津川小、持松小) 2,483人 2 生徒芸術鑑賞会「おとどけコンサート」5公演(中学校5校) 隼人中、牧之原中、霧島中、日当山中、若駒分校 1,329人 3 劇団「四季」こころの劇場「エルゴスの祈り」 小学6年生全員 市民会館 2回公演 1,176人 4 文化芸術による子供の育成事業(文化庁) 国分北小(演劇)・富隈小(狂言)・霧島小(児童劇) 1,166人 5 青少年のための芸術鑑賞事業 青葉小(邦楽) 399人	本年度は、青少年劇場の11校、芸術鑑賞会事業の5校、こころの劇場に加え、多くの学校に手を上げていただき、文化庁事業及び県事業で4つの学校が観劇及び鑑賞する機会を得ることが出来た。

事務事業コード	0110060604040106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	毎年、授業では経験できない事を体感することにより、子供の持つ可能性を高め、今後、芸術文化に触れるきっかけづくりに結びついているものとする。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年育成は、市の重要な責務の一つであり、将来を担う子供たちの健全育成に経費を投入することは妥当であるとする。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	日本国内に存在する一流の芸術文化はあまたあり、その全てを体感することは不可能であるが、その一流の中から一つでも体感することにより得られた感動は、豊かな心の醸成に寄与するものとする。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業は、心の醸成の全てをなしているものではないが、少なくとも、霧島市に居住する子供たちの「心」の教育の一端をなしているものであると考えると影響は大きいものと思慮する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市内の児童生徒の鑑賞機会は、3年に1回であり、これより頻度を下げると、子供たちの観劇・鑑賞機会の公平性を損なう可能性を否定できないことから削減は困難であるとする。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事務事業を実施する中で、実施校や教育委員会との連絡調整に多くの時間を割くことから、双方との直接協議が可能な職員でなければ成し得ない事業であり、外部委託はなじまないとする。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現時点での鑑賞・観劇機会は、市内の小中学校に通う全児童生徒に平等に提供されることから、公平性は確保されているとする。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	小学生を対象とした「市町村による青少年劇場」と中学生を対象とした「児童生徒芸術鑑賞会」は、いずれも開催校の体育館を利用して行われていることから、以前から音響機器や照明設備、鑑賞環境(冷暖房等)の改善が望まれている。「こころの劇場」と同じように、市民会館やみやまコンセール等の文化施設での開催が可能であれば、十分な演出が期待でき、更なる感動を受けられると思慮する。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	小学生を対象とした「市町村による青少年劇場」は1クール(3年毎)のプログラムが終了することから、次期プログラムの選定を行う。なお、中学生を対象とした「児童生徒芸術鑑賞会」は、従前のおとりみやまコンセールの登録アーティストによるアンサンブルを委託する予定である。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





1. 基本情報							
事務事業コード	011006060400202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	中馬 聡		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化G		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費				特になし	
	目	06 文化振興費				特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会並びに霧島国際音楽祭、交流会はスポーツ・文化振興課芸術文化グループが所管する文化団体であり、それぞれが行っている自主活動は本市の芸術文化振興に多大な貢献をしていることから、補助金を交付してその運営及び継承の安定化を図っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 文化協会による文化事業へ活動延人数	人	2,686	2,900	3,850	3,000	3,100
イ 演奏会等の活動延人数	人	1,485	1,450	1,880	1,500	1,550
ウ 神楽公演等への活動延人数	人	680	650	648	700	700

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民(成人男女)	人口	人	99,248	104,711	100,207	100,808	101,249
イ 市民(小中学生)	小中学生数	人	11,065	11,000	11,024	11,000	11,000
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 加入を促進し心豊かな文化活動を行う	対象人口に対する活動指標の割合	%	2.7	4.0	3.8	4.0	4.1
イ 加入を促進し、音楽を通して青少年の健全育成を図る	対象人口に対する活動指標の割合	%	13.4	14.0	17.0	15.0	16.0
ウ 加入を促進し、伝統芸能の継承を図る	対象人口に対する活動指標の割合	%	0.7	2.0	0.6	2.0	2.1

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化される	芸術文化団体に所属している人の数	人	2,992	3,600	2,692		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市文化協会は合併を機に設立し、旧市町単位で支部として活動しているものの、支部は会員の減少や高齢化が顕著であり、活動が困難な支部も出てきている。少年少女合唱団は、学校週5日制(隔週)の導入に伴い、平成8年度に旧国分市で結成され、毎年、市内の小中学生にチャンスを配布し会員を募集している。霧島神楽は、旧霧島町で270年前の古文書が見つかり、記述をもとに復活させ今年創立20周年を迎えた。霧島国際音楽祭は再来年40周年の節目を迎えることから来年度を重点年度と位置づけ、「音の香る霧島市」を広くPRしたい。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,500	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,124	9,184	9,184	9,984	9,336
事業費		千円	4,624	9,184	9,184	9,984	9,336

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
全ての団体が、引き続き自主運営により活発な活動を行った。文化協会は、支部ごとに文化祭を中心とした活動と国分支部・隼人支部は加えてチャリティーショーなど地域の特性を生かした活動を行っている。 また、西郷公園において年間を通じてギャラリー展を行った。少年少女合唱団は、県の合唱祭や白い歌青い歌フェスティバルへ参加したほか、今年も単独事業「霧島市少年少女合唱祭」を盛大に開催した。 霧島神楽振興会は、前年に引き続き、南九州神楽まつりや郷土芸能の夕べに出演した。 霧島国際音楽祭は、今年度、台風等の影響により、後半において一部公演中止を余儀なくされたものの、それ以外は順調に推移した。	全ての団体を通じて、団員、会員の減少はあるものの、年間を通じた独自の活動により、市民を含め多くの方々に芸術文化に触れる機会を創設できた。

事務事業コード	0110060604040202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	今後は、組織内の交流のみならず、組織に未加入ながら活動している芸術文化団体との交流を視野に、芸術文化活動の底辺拡大に向け、広く行動する必要がある。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	芸術文化活動の受け皿として、既存団体の維持継承に市費を投ずることは、多くの市民にその機会を与えることにつながっていると考える。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民団体の活動については、組織に頼らず活動している団体もあることから、その連携を模索する必要がある。 また、国際音楽祭については、40周年を控え来年度を重点年度と位置づけ、広く市民にPRできる手法を検討する必要がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	机上で推測する中では、廃止・休止によりどこまで影響が出るかの検証は困難であるが、少なくとも、それぞれの地区での活動や活動範囲が狭まることは間違いないため、影響はあるものと思慮する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本来は、補助金に頼らず自主財源での運営が可能であれば事務事業の廃止により経費削減は可能である。しかしながら、近年の会員の自然減などの実情を鑑みると、今後も当分の間、市費での運営補助はやむを得ないと考える。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	先述したとおり、事務事業の廃止以外は削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	どの団体も、広く市民に門戸を開いており、かつ、会員からは会費や実費を徴収するなど受益者負担の公平性は保たれていると思慮する。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)							

文化協会、少年少女、神楽の3団体、特に文化協会と神楽については、高齢化による脱退が顕著であることから新規の会員確保が喫緊の課題であると考え。なお、霧島国際音楽祭関連については、主要会場のある市として出来る限りの支援を図ることが必要である。

1980年(昭和55年)に旧霧島町で始まった講習会が40周年の節目を迎える。創設者は基より、これまで霧島国際音楽祭に携わってこられた多くの関係者の尽力によるものであることは間違いない。霧島市は「共催」という立場であるが、主催する鹿児島県とジェヌク音楽財団と協働して何が出来るかを模索していきたい。

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	011006060409903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	04	文化の振興		担当課長	中馬 聡		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		グループ	芸術文化グループ		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 42 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市民会館の設置及び管理に関する条例	
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託し、本年度で契約最終年度を迎える。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項) [施設の概要] 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル) 延べ床面積 4,472㎡ 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12 休館日 毎月第1日曜日、年末年始 開館時間 午前9時～午後10時						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	利用者数	人	63,924	66,120	58,152	69,600	69,600
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	文化的催し物に参加する	自主文化事業の総入場者数	人	4,232.0	4,100.0	4,963.0	4,200.0	4,300.0
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	96,404	93,000	93,616		
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)	
平成25年4月から公募による指定管理者制度を導入して、来年度から新規に5年間の指定管理契約を締結します。施設は、リニューアルから18年が経過しており、施設・設備に軽微な不具合が発生してきている箇所もあることから、市民が安全に利用できるよう、その修繕・改善を施す必要がある。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0	0
				その他	千円	6,000	6,000	5,463	5,700	0
				一般財源	千円	101,180	50,289	51,409	50,506	56,806
				事業費	千円	107,180	56,289	56,872	56,206	56,806

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>	
年間を通じて、芸術文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼保育園の発表会、小中高校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会と利用され、また、霧島市事業として市民表彰や成人式並びに舞鶴大学の開催、劇団及び楽団による練習や公演、劇団四季の「こころの劇場」に活用された。		本年度は、年間を通じて181件、58,152人の方々の利用をされた。なお、市民会館自主文化事業は4つのプログラムを実施し、3,678人の方々が鑑賞された。	

事務事業コード	0110060604049903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民会館で行われる多種多様な芸術公演や文化イベントを多くの市民の方々にご覧いただくことは、芸術文化活動を始めるきっかけづくりの一つとして有効な手段であると考えます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設であることから、市費の投入による管理は妥当であると考えます。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島市民の持つ芸術文化に関するニーズは、まだまだ広くものと考えます。今後も市民ニーズの把握に努めながら多彩なプログラムの提供ができる体制を構築する。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民の芸術文化活動の中心施設であることから、廃止・休止による影響は大きいと思慮する。なお、大規模改築により休止する場合においても、市民に対し事前広報を行い影響を最小限に留める努力も必要である。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	今年度末を以って、第1次指定管理期間が終了することから、新たな指定管理期間の設定を行うこととなる。今後も、引き続き民間の経営ノウハウによる会館運営と経理削減を図る。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度導入後の人件費は最小となっていると考えます。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民会館の利用については、条例により規定されていることから公平性は担保されているものと考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	指定管理制度の切替年度となることから、当該年度内にその切替処理を終えたところである。築50年を超えることから、施設の老朽化に伴う修繕や建築基準法の改正による特定天井の改修などが想定され、今後、市民会館の活用方針として、長寿命化か建替えかの議論を活発化させる必要がある。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	第2次指定管理期間2年目に入ることから、市民会館自主文化事業では新たな挑戦と拡充を目指し、また、市民にとって更に使いやすい施設となるよう指定管理者との連携を強化する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

